

# 用語解説

---

## 【あ行】

### アイデンティティ

本来は自分の存在を感じ取るという意味であることから、自他ともに認める独自性、特性、個性などをさす。

### 新しい生活様式

新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、感染拡大を防止するために日常生活で実践すべきものとして、厚生労働省が示した行動指針のこと。具体的な実践例には、一人ひとりの基本的感染対策として、「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」などが挙げられている。他にも、「3密の回避（密集、密接、密閉）」、「テレワークやローテーション勤務」、「会議はオンライン」などの項目がある。

### 新たな価値

世界規模での技術革新に限らず、地域課題や身近な生活上の課題を自分なりに解決し、自他の人生や生活を豊かなものとしていくという様々な工夫なども含むもの。

### 生きる力

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身につけさせたい「確かな学力」（基礎的な知識や技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力等）、「豊かな人間性」（自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心等）、「健康と体力」（たくましく生きるための健康や体力等）などの要素からなる、「知・徳・体」のバランスのとれた力のこと。

### いじめ対応支援チーム

令和元年（2019年）6月に受けた八尾市いじめ調査委員会調査報告書提言に基づき設置された、市立学校で生起したいじめ事象について、外部専門家等の意見を踏まえ、事象の解決に向けた支援を行う組織のこと。委員は、弁護士、学識経験者、臨床心理士、社会福祉士等のいじめ問題について専門的な知識や経験を有する者で構成され、毎月1回の月例会議を実施している。

## インクルーシブ教育システム

障がいのある者と障がいのない者がともに学ぶための仕組み。地域の子どもができる限りともに学ぶことに配慮しつつ、どの子も授業が分かり、学習活動に参加している実感、達成感をもちながら、精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、生きる力をつけていくことをねらいとしている。そのシステムの構築のために、個人に必要な合理的配慮をしつつ、教育を着実に進めていく必要があると考えられている。

### 【か行】

#### 学校運営協議会

保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを（迅速かつ的確に）学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体になってよりよい教育の実現に取り組む仕組みのこと。

#### 学校における働き方改革

教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方の見直しを進める取組みのこと。

#### カリキュラム・マネジメント

教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともに、その改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

#### キャリア教育

子ども一人ひとりが将来への希望を持ち、社会で生きる力をつけるため、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力を発達段階に応じて身につけるための教育のこと。

#### グローバル化

社会的あるいは経済的な関連が、これまでの国家や地域などの境界を越えて地球規模に拡大していること。

#### ゲストティーチャー

指導者として特別に学校に招いた一般の人々のこと。

## 現代的・社会的な課題

急激な社会の変化に伴い、人々が充実した社会生活を営んでいくために、自ら進んで学び、身につけることが望ましい課題のこと。例えば、インターネットやSNSが広く普及する中で、デジタルプラットフォームのようなインターネット上で取引行為を行うサービスも出てきており、その中で消費者が不利益を被る問題も発生している。また、近年多発する大規模災害や、地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化などの環境問題も課題となっている。

### 【さ行】

#### 自己肯定感

長所も短所も含めて、ありのままの自分を受け入れ、自分の存在や価値を肯定する感覚や感情のこと。

#### 自己有用感

他者との関係の中で、「自分は役に立っている」など、自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚のこと。

#### 自尊感情

自分自身を価値ある存在と認め大切に思う気持ちのこと。

#### 生涯学習社会

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会」（教育基本法第3条・生涯学習の理念より）のこと。

#### 小中一貫教育

小・中学校の教職員が連携・協働して、義務教育9年間の子どもの成長を見通し、めざす子ども像（中学卒業時の姿）を共有して、一貫した授業づくりや生徒指導等、系統的な教育を行うこと。

#### 情報モラル

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度のこと。

#### 情報リテラシー

情報を使いこなす能力。パソコンなどのICT機器の操作だけでなく、氾濫する大量の情報の中から必要な情報を理解し、選択し、整理し、創造し、発信できる能力（情報の利活用能力）のこと。

## 食育

様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現できる人を育てる教育のこと。

## 人生100年時代

平均寿命の伸びにより、100歳前後まで生きることが可能となる時代のこと。令和元年（2019年）12月に取りまとめられた「人生100年時代構想会議 中間報告」においては、「100年という長い期間をより充実したものとするためには、生涯にわたる学習が必要である」などが述べられており、生涯学習の重要性が一層高まっている。

## スクールカウンセラー

いじめや不登校、暴力行為などへのきめ細かな対応を図るため、児童・生徒の心のケア、保護者・教職員のアドバイス等を行う公認心理師・臨床心理士のこと。

## スクールガード・リーダー

警察官OB等を地域学校安全指導員として委嘱。学校の巡回指導や地域住民による通学路等における子どもの安全を見守る活動を行う「子ども安全見守り隊」等のボランティアに対する指導・助言を行う。

## スクールソーシャルワーカー

教育分野に関する知識に加え、社会福祉などの専門的な知識や技術を持った人で、子どもたちが抱える課題についての状況や背景を見立て、その解決に向けて、福祉的な視点に立った環境改善に向けた支援を行うために、学校に配置又は派遣される。チーム支援体制を校内に構築し、役割分担や調整を行う。

## スクールロイヤー

いじめや保護者とのトラブル等にかかる学校の説明責任、対応のあり方について、司法の観点からアセスメントを行い、解決に向けたアドバイスをする学校の教育活動に深い見識を持った弁護士のこと。

## 性的マイノリティ

「生物学的な性（からだの性）」と「性自認（こころの性）」が一致している人や、「性的指向」が異性に向いている人が多数派とされる一方で、これらにあてはまらない人々のこと。同性を好きになる女性（レズビアン、Lesbian）、同性を好きになる男性（ゲイ、Gay）、異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人（バイセクシュアル、Bisexual）、出生時に決定された性（からだの性）とは異なる性を自認する人（トランスジェンダー、Transgender）の各語の頭文字をとって、「LGBT」と表現され、LGBTは性的マイノリティの総称としても使われていることもあるが、LGBT以外にも、性的指向や性自認がはっきりしない人や揺れ動く人、あるいは性的指向や性自認をもたない人もいる。

## 相対的貧困

その国や地域の水準の中で比較して、大多数よりも貧しい状態のこと。具体的には、世帯の所得が、その国の等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分に満たない状態のことをいう。

## 【た行】

### 地域学校協働活動

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。例えば、子どもたちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民とともに地域課題を解決したり、地域の行事に参画してともに地域づくりに関わるといった活動が挙げられる。

### チームとしての学校

文部科学省が推奨する新しい学校像。校長のリーダーシップのもと、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源などが一体的にマネジメントされ、教職員や学校内外の多様な人材が、それぞれの専門性を活かして能力を発揮し、子どもたちに必要な資質・能力を確実に身につけさせることができる学校をさす。

### 超スマート社会（Society5.0）

ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータ等の新たな技術を社会生活のあらゆる場面に取り入れることで大きな変革をもたらし、経済発展と課題解決を両立していこうとする高度で新たな未来社会のことをいう。

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」のことであり、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、我が国がめざすべき未来社会の姿として提唱された。

## 【は行】

### ビッグデータ

膨大なデジタルデータの集積のこと。ビッグデータには文字、数字、図表、画像、音声、動画など、様々なタイプのデータが含まれる。ビッグデータの解析から得た知見を、マーケティングなど企業経営や新しいビジネスの創造に活かそうという動きが活発化している。

### プログラミング的思考／プログラミング教育

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力のこと。なお、プログラミング的思考を育てる教育のことを、プログラミング教育という。

## 【ま行】

### 学びを支えるセーフティネット

貧困の世代間連鎖を断ち切るため、家庭の経済的事情等に関わらず、学びを断念することのないよう支援すること。

## 【ら行】

### レファレンスサービス

図書館において、職員による調べものや図書資料の検索などの手助けのこと。

## 【数字／英字】

### A I

“Artificial Intelligence（人工知能）”の略語で、言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を、人間に代わってコンピュータに行わせる技術のこと。

### G I G Aスクール構想

1人1台の学習用タブレット端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること。これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師、児童・生徒の力を最大限に引き出す。

## ICT

“Information & Communication Technology（情報通信技術）の略語で、パソコンやスマートフォンを活用したコミュニケーションによる情報や知識の共有を図るための情報通信技術のこと。

## SDGs

” Sustainable Development Goals ” の略称で、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」にて記載された令和12年（2030年）までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

## SNS

“Social Networking Service ” の略称で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのこと。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイトのこと。Twitter、Facebookなどが知られている。